

ネイティブ バチルス リケニフォルミス プロテアーゼ

Cat. No. NATE-0633

Lot. No. (See product label)

はじめに

プロテアーゼはペプチド結合の加水分解によってタンパク質を分解します。プロテアーゼは、

フェニルメチルスルホニルフルオリド(PMSF)やジイソプロピルフルオロリン酸などのセリン活性部位阻害剤によって不活性化されます。プロテアーゼは、天然および□性タンパク質に□して広い特異性を持つセリンエンドプロテイナーゼであり、アルカリ条件下で活性です。ま

た、ドライオクタンなどの一部の有機溶媒でも活性です。

用途 この製品は、構造決定に適した結晶を生成するために、他の酵素と共にインシチュプロテオリ

シスに使用されました。また、機能的なin vitro研究に使用できるサブサルコレマ(SS)およびインターマイオフィブリラ(IMF)ミトコンドリアの分離プロセスにも使用されています。これは、バチルス・リケニフォルミスの発酵から分離されたプロテオリティック酵素です。これは、天然および□性タンパク質に□して広範な特異性を持つセリンエンドプロテイナーゼであ

り、アルカリ条件下で活性です。

別名 プロテアーゼ; 9014-01-1; サブチリシン A; EC 3.4.21.62; アルカレース

製品情報

由来 バチルス・リケニフォルミス

形態 タイプ**VⅢ、**凍結乾燥粉末; タイプ**I、**水溶液

EC番号 EC 3.4.21.62

CAS登□番号 9001-92-7

分子量 サブチリシンは、ジスルフィド結合を持たない非糖鎖化単一ポリペプチド鎖であり、分子量は

27 KDaです。

活性 タイプVIII、7-15単位/mg 固体; タイプI、> 2.4 U/g

特異性 サブチリシンAは、セリンS8エンドプロテイナーゼファミリーの一員です。P1位置に大きな無

荷電残基を好む広い特異性を持っています。天然および□性タンパク質を加水分解し、アルカリ条件下で活性を示します。DNase <5.0クニッツ単位/mg 固体 RNase <0.05クニッツ単

位/mg 固体

単位定義 1ユニットは、pH 7.5、37°Cでカゼインを加水分解し、1分あたり1.0 μmole(181 μg)の

チロシンに相当する色を生成します(色はFolin-Ciocalteu試□による)。